

〈隸書〉

霜林著色皆成畫
雁字排空半草書

井之上南岳先生書

(この課題で書体は自由。但し、この課目は一人一点のみとする)

半折作品は各課目ごとに横／＼に一枚ずつたんで提出ください。

〈楷書〉

霜林著色皆成畫
雁字排空半草書

清原大龍先生書

□ 霜林色を著け皆畫を成し 雁字空に排し半ば草書 (唐伯虎)

次号予告「飛鳴聲念群」

〈行書〉



山本飛雲先生書

▽霜の降りた林はすべて紅葉して画をなして、雁の列は大空に連なって草書に似ている。字と書に工夫が見える。

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

舟尾圭碩先生書



□多れを可裳^{たかも}しる人^に尔^{せむ} 高砂の松もむか志^しのとも難^ならなくに
誰をかもしる人にせむ 高砂の松も昔の友ならなくに

△百人一首三十四△

条幅随意（臨書）（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点のみとする）

吉田成美先生臨

半九十里言晩節末路
之難也從古至今泉我高

▽争坐位文稿

半九十里言晩節末路之難也從古至今泉我高

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

吉田成堂先生書

夕の空がやく空の下に秋の悲哀にすすり鳴く蟲の聲
悲哀にすすり鳴く蟲の聲

□福田正夫の詩

夕の空がやく空の下に秋の悲哀にすすり鳴く蟲の聲

《手本（課題例）にとらわれず意欲的な作品を期待します。》

半折作品は各課目ごとに横に一枚ずつたんで提出ください。

条幅 随意参考手本（半折 $\frac{1}{2}$ 横のみ） —10月末日締切—

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

《手本（課題例）にとらわれず意欲的な作品を期待します。》



小島秋聲先生書

□ 黄葉の木の

間透し

陽に映ゆる

紫式部の

小さき實の色

《幾子の歌》

ヨコ作品なの

で漢字は扁と

旁が狭くなら

ないように注

意しましょう。

各行の振幅を

大胆にしながら

らも調和を大

切に。



廣瀬蘇水先生書

□ 福如雲

（昭徳皇后）

福雲の如し。

雲のように多

い福。

紙の上部をせ

まく下部を広

くして、たく

さんの幸せの

中にいる皇后

の姿を余白で

明るく表現し

たかった。名

前・雅印の位

置にも留意し

よう。

※半折 $\frac{1}{2}$ 横

の出品票

は作品の

左下に貼

って提出

下さい。

(この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする)

□ 科に^{あな}盈^みちて後^{のち}進^{すす}む (孟子)
くぼ地を満たしてから先に進んでいく。
学問が一步一步向上していくことのたとえ。



次号予告「落鴈迷沙渚」

吉田成美先生書

(この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする)

□ 科に^{あな}盈^みちて後^{のち}進^{すす}む (孟子)
くぼ地を満たしてから先に進んでいく。
学問が一步一步向上していくことのたとえ。



次号予告「落鴈迷沙渚」

吉田成美先生書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

□ 寛 裕 (礼記 儒行)

心が広くゆつたりとして落ち着きがあるのは、仁の主要な働きである。



半紙随意参考手本 —10月末日締切—

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

△仮名▽

誰をかも しる人にせむ 高砂の 松も昔の 友ならなくに

誰をかも
しる人にせむ
高砂の
松も昔の
友ならなくに

誰をかも
しる人にせむ
高砂の
松も昔の
友ならなくに



□多れを可も しる人尔せ無堂可さこの 松もむ可し農と裳ならなく耳 △百人一首三十四▽

舟尾圭碩先生書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

△詩文書▽

自分の道をまっすぐゆこう 時間をかけてみがいてゆこう

△坂村真民の詩▽

※出品券は、半紙をタテにした左下に貼って提出ください。(ヨコ作品の場合も半紙をタテにして同様に貼ってください)

自分の道を
まっすぐ
ゆこう
時間を
かけて
みがい
てゆ
こう
真民の詩
作

足立和子先生書

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点とする）

△臨書▽

点画の気脈を意識しながら、深味のある線に留意しよう。



「末路之難」

吉田成美先生臨

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

△実用書▽

夜秋しゅう
寒霖りん

刈田かりた風かぜ
神去月かみさりづき

初霜しゅんかの便り
春華秋實しゅうじつ

藤新
袴米

吾われ亦も紅こう
黄金色

菊の香漂う
もみじ前線

藤袴	夜寒	新米	秋霖
吾亦紅	刈田風	黄金色	神去月
菊の香漂う	初霜の便り	もみじ前線	春華秋實

姓
号

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

△手紙文▽

窓を開けると涼しい夜風に乗って美しい虫の音が聞こえてきます鈴虫、松虫、蟋蟀たちが
自慢の声を競っているようです秋の深まりとともに演奏会は賑わいを増すでしょう

窓を開けると涼しい夜風に乗って
美しい虫の音が聞こえてきます
鈴虫
松虫 蟋蟀 たちが自慢の声を競って
いるようです
秋の深まりとともに演奏会は
賑わいを増すでしょう
桂子



大 坪 桂 子 先 生 書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目A・Bのいずれか一点のみとする)

△暮らしに役立つ書▽

書言

先日は大好物のメロンをお贈り戴きまして
心よりお礼を申し上げます。

新鮮で味も絶品でした。悠大な北海道は
九州にも負けるものが豊富にありますね。

北海道の唯一の思い出は亡き恩師や書友の
仲間と札幌など観光したことでした。

一生忘れられない大切な思い出となりました。

近日お伺いしたいと思っております。

その折にはよろしくお願ひ致します。

陽子

野のある便箋に書いてみよう。

△26cm×18cm▽

紙質は自由。

- 最近、ボールペンを消しゴムで消されるものとか、筆ペンは、若干高級なものは、小筆で書いたようなものがあり大変に便利になりました。消しゴムが使用できるなら大変便利とは思いますが？用具の研究もしてみましょう。

※ 本研究社にて「特選便箋」を発売しております。本誌裏面をご参照の上、ご利用ください。

樋口凌雲先生書

（この課題以外の語句のものもよい。但し、その学年にふさわしい語句が望ましい。）

かき実る

小学 4 年

水の玉

小学 3 年

オムレツ

小学 2 年

あさ

ようねん・小学 1 年

雄大な自然

中学 2・3 年

紅葉狩り

中学 1 年

創造力

小学 6 年

広がる夢

小学 5 年

秋 永 春 霞 先生 書

△条幅 ¼ 四尺画仙紙半折 ¼ : 68 cm × 17・5 cm ▽

ようねん・小学一年

次号予告「み ち」

あき

□「あ」の三画目は、ふでだけをまわさず、うで全体をつかって、のびやかに書きましょう。

小学二年

次号予告「きずな」

オムツ

□「ハネ」「ハライ」「トメ」のちがいに気をつけて、ゆっくり、ていねいに書きましょう。

坂 元 紫 香 先 生 書

小学三年

次号予告「大きな力」

水玉

□始筆のはいり方と線の方向に注意し、中心とバランスに気をつけ、明るく伸やかに書こう。

小学四年

次号予告「日 新」

実る

□点や画の接し方に注意し、平がなはや、小さめですが、筆力十分にバランスよく書こう。

吉 田 成 美 先 生 書

小学五年

次号予告「親子」

広がる夢が

□「広」は三画目の左「ハライ」を充分に開くこと。「夢」は少し細い線で長短・間隔に気をつけて。

小学六年

次号予告「大切な命」

創造

□「創」は三画目の線の方向に注意。「造」は「告」の一・三画間の余白が狭くならないように。

小 畠 秋 聲 先 生 書

中学一年

次号予告「真の勇士」

紅葉

□行書の特徴には曲線的に柔らかく書く他に点画の省略などがある。楷書と比較してみよう。

中学二・三年

次号予告「故郷」(行書)

雄大な自然

□文字は小さいが気持ちは雄大に持ち力まずにのびやかに書こう。平仮名はや、小さく。

清 原 大 龍 先 生 書

ようねん・小学一年

段 級							
氏 名							
		あ	き	い	た		
		ら	な	る	い		
		わ		と	そ		
		れ	く		う		
		ま	じ	空	を		
		し	ら	に			
		た	が		し		
		。		大	て		

小学二年

段 級				
氏 名				
	話	の	と	音
	を	う		読
	あ	ご	か	げ
	ら	き	ん	き
	わ	と	た	で
	し	で	ん	は
	ま		な	
	す	お	体	声

坂元紫香先生書

小学三年

	青い空の下、お兄ちゃん
	やちいちちゃんぐらいの
	子どもたちが、わらい声
	を上げて、遊んでいます。
段 級	
氏 名	

小学四年

[illegible]

吉田成美先生書

小学五年

国際的な協力が進めば、天気予報は百パーセント的中するようになるのでしょうか。それ
はかなりむずかしいというの
が、現在のわたしの考えです。

段 級

氏 名

小学六年

本が置かれている場所に行った
ら、あなたはただ心の中で、ちよ
うと転校生になったみたいなき
分で、「ここで友達が見つかる
といいな。」と思ってみてくだ
さい。

段 級

氏 名

小 畠 秋 聲 先 生 書

中学

カビのように、人間の健康や生活に害をあたえる微生物もいるが、いっぽうで、人間の生活に役立つ微生物も多い。例えば、乳酸菌は、牛や羊のミルクを分解して乳酸を作り出す。

段 級

氏 名

一般 (A)

桂離宮を拝見して、改めて竹の美しさに打たれた。冬の日だまりでさややかと鳴る竹の群れは清寂そのものであり、表門につらなる穂垣のたたずまいは、人の心を和ませるものがあった。

段 級

氏 名

小 畠 秋 聲 先 生 書